

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田作を主体とした都市的農業地域。
- 助成対象者の耕作する地域は、ブロックローテーションによる麦、大豆の生産が行われており、担い手に農地集積が進んでいる。

【支援内容・背景】

- 高齢化により、農地の出し手が増えており、受け手となる地域の担い手の確保・育成が必要。
- 助成対象者は水稻(多品種)、大豆を作付けし、6次産業化にも取り組んでいる。また、地区内および周辺地区での経営面積拡大が見込まれているため、高性能機械を導入し、生産体制の強化を支援。



助成対象者「有限会社 T」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成初期  
川西地区で、ブロックローテーションによる麦、大豆の生産開始
- 平成8年  
今後の経営拡大を見据え法人化
- 平成10年頃  
農産加工部門(米加工品)の導入
- 平成27年  
現経営者(息子)へ経営継承

《事業活用の背景》

○ 湿田など条件の悪いほ場での経営面積の拡大が見込まれていることから、適期刈取りの徹底を図るため、高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈H29年度〉

○売上高 87百万円

○経営面積 82.4ha

水稻	37.7ha
大豆	41.8ha
その他	2.9ha

《事業による整備内容》

○コンバイン(6条刈 130ps) 1台  
事業費 14,000千円(国費 6,481千円)



【現在の経営状況】  
〈R2年度〉

○売上高 110百万円 (126%)

○経営面積 95.63ha (116%)

水稻	58.8ha
大豆	36.8ha
その他	0.03ha

事業の  
効果

《対象者》 高性能機械導入により、水稻収穫作業の効率化が行われ、経営面積の拡大の実現が図られたことに加え、水稻収穫後に行う大豆収穫も適期の作業が可能となり、副次的に大豆の収量が向上し、付加価値額の拡大にも寄与。

《地区》 地区内および周辺地区の耕作放棄地の発生防止に寄与。